

# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	[仮称] 朝霞市宮戸計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	朝霞市宮戸二丁目2006番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	177人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年9月14日
敷地面積	2,104㎡	作成者	大内 七聖
建築面積	732㎡	確認日	2022年9月14日
延床面積	4,462㎡	確認者	島田 祐樹



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境: 3.1, 温熱環境: 2.9, 光・視環境: 3.8, 空気質環境: 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性: 2.6, 耐用性: 2.9, 対応性: 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の: 4.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.0, 効率的: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

水資源: 2.2, 非再生材料の使用削減: 2.4, 汚染物質回避: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化への配慮: 3.7, 地域環境への配慮: 3.0, 周辺環境への配慮: 3.1

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 地域の景観に配慮したボリューム設定とし、道路等の公共空間との間に植栽を施し、周辺からの見え方に配慮した計画とした。また、周囲への圧迫感の軽減の為、アルミ手摺や飾り柱を用いて建物ボリュームを分節し、周囲の街並みとのスケールの調和を図った。	<b>その他</b> LED省エネ設備、複層ガラスを採用。
<b>Q1 室内環境</b> ・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	<b>Q2 サービス性能</b> ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・建物の配置、形態、植栽などを周辺環境との調和に配慮した計画としている。 緑化率(外構緑化指数) = 224.42㎡ / (2104.29-887.36) → 18.44%	<b>LR3 敷地外環境</b> ・自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。 ・自治体の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。
<b>LR1 エネルギー</b> ・住宅性能表示基準断熱性能等級3を取得予定。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**[仮称]朝霞市宮戸計画 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50	
1 開口部遮音性能	Dr=50	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能			-	<b>4.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	<b>3.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	<b>3.0</b>	0.20	
1.3 吸音			-		-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.9</b>
2.1 室温制御		<b>2.2</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00	
1 室温		<b>3.0</b>	0.63	-	-	
2 外皮性能		<b>1.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	1.00	
3 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.2</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 昼光率	共用部分:35.80%、住居部分: 4.50%	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50	
2 方位別開口			-	<b>3.0</b>	0.30	
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20	
3.2 グレア対策		<b>1.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 昼光制御	カーテン及びバルコニー庇の組合せで制御	<b>1.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質	建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を採用している	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能			-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-	<b>3.0</b>	1.00	
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観			-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		<b>3.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30		-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.2</b>	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 劣化対策等級における等級3を取得予定	<b>5.0</b>	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-	
2.4 信頼性		<b>2.2</b>	0.20		-	
1 空調・換気設備		<b>1.0</b>	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		<b>1.0</b>	0.20		-	
3 電気設備		<b>3.0</b>	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20		-	
5 通信・情報設備		<b>3.0</b>	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	<b>2.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり			-	<b>3.0</b>	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	<b>1.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.7</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級4	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm]= 0.90	<b>4.0</b>	0.50	-	-	<b>4.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>1.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体+軽鉄+仕上材の構造により躯体と仕上材の分別が容易	3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が1つある	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	パフピュアーエースを使用	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		CO2排出率:81%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明を行っていない。『光害ガイドライン』のチェックリストの過半を満たしている。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	[仮称] 朝霞市宮戸計画 新築工事	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	2.3	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄